

楽しく日本語を学ぶために

日本語指導教材リスト

児童生徒用教材

指導者用資料

＜付録＞副教材・教具



千葉県教育委員会

目 次

1. 児童生徒用教材

(1)	にほんごをまなぼう	1
(2)	にほんごワークブック	8
(3)	ひろこさんのたのしいにほんご	9
(4)	たのしいにほんご	11
(5)	にほんごドレミ・ジャンプ	13
(6)	日本語学級	16
(7)	やさしいにほんご	18
(8)	にほんごだいすき	21
(9)	こどものにほんご	22
(10)	にほんごかんたん	24
(11)	よ〜いドン。にほんご	25
(12)	みんなのにほんご	25
(13)	いっしょのにほんご	26
(14)	4コママンガおぼえる日本語	27
(15)	絵でわかるかんたんかんじ	28
(16)	かんじだいすき	29
(17)	児童生徒ための日本語わいわい活動集	31
(18)	JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE	31
(19)	言葉図鑑	32
(20)	ことばあそびうた	33
(21)	じてん	34
(22)	Gosto Muito de Kanji	37
(23)	絵でわかる ぎおんご ぎたいご	38
(24)	たのしいがっこう	39
(25)	はじめくんとまりちゃんのにほんごきょうしつ	40
(26)	中学生の日本語	41
(27)	高校生の日本語	42
(28)	レベル別日本語多読ライブラリー にほんごよむよむ文庫	43
(29)	漢字がたのしくなる本	44
(30)	授業で活躍する日本語ことば絵事典	45

(31)	外国人のための楽しい日本語辞典	46
(32)	用例付学習語彙5000語	47
(33)	学校で役立つ学習語彙・用例集	48
(34)	クラスメイトは外国人	49
(35)	もののなまえ絵じてん	50
(36)	こどもきせつのぎょうじ絵じてん	51
(37)	ちょっと難しい1000のことば	52
(38)	JSL 中学高校生のための教科につなげる学習語彙・漢字ドリル	53
(39)	ドラえもののどこでも日本語	54
(40)	DVD で学ぶ日本語 エリンが挑戦 にほんごできます。	55
(41)	すてきなひらがな	56
(42)	医学と教育との連携で生れたグレーゾーンの子どもに対応した作文ワーク	57
(43)	ことばのテーブル 100枚プリント	58
(44)	こどもにほんご宝島	59
(45)	小学校学習漢字1006字がすべて読める漢字童話	60
(46)	中学校学習漢字939字がすべて読める漢字童話	61
(47)	世界と地球の困った現実	61
(48)	中国と出会おう(国際理解ハンドブック)	62
(49)	にほんごこれだけ!	64

2. 指導者用資料

(1)	外国人児童生徒のための日本語指導	1
(2)	「学校教育におけるJSLカリキュラムの開発について」対応 外国人児童の「教科と日本語」シリーズ	2
(3)	教えるためのことばの整理	4
(4)	基礎表現とその教え方	5
(5)	日本語授業 おもしろネタ集	6
(6)	外国人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド	7
(7)	日本語の教え方 スーパーキット	8
(8)	就学ハンドブック	9
(9)	学校からのおたより	11
(10)	HELLO CHIBA	12
(11)	日本語でボランティア	13
(12)	外国人児童生徒を教えるためのリライト教材	14
(13)	多文化共生の学校づくり	15
(14)	身近なことから世界と私を考える授業	16

(15)	高校を生きるニューカマー	17
(16)	外国からの子どもたちと共に	18
(17)	いちょう団地発 外国人の子どもたちの挑戦	20
(18)	外国人の子どもと日本の教育	21
(19)	外国人生徒のためのカリキュラム	22
(20)	Welcome to 日本語教室 外国からきた子どもたちに日本語を教えるボランティア	23
(21)	新しい日本語教育の視点 子どもの母語を考える	24
(22)	文化間移動をする子どもたちの学び	25
(23)	移動労働者とその家族のための言語政策	26
(24)	外国人の子どもの不就学	27
(25)	海外で育つ子どもの心理と教育	28
(26)	イチからはじめる 外国人の子どもの教育	29
(27)	子ども・保護者・地域を変える多文化共生の学校を創る	30
(28)	外国人学校	31
(29)	顔の見えない定住化	32
(30)	「移動する子どもたち」のことばの教育を創造する	33
(31)	中国帰国者三世四世の学校エスノグラフィー	34
(32)	初級を教える人のための日本語文法ハンドブック	35
(33)	マイノリティーの名前はどのように扱われているか	36
(34)	移動する子どもたちと日本語教育	37
(35)	私も移動する子どもだった	38

<付録>副教材・教具

＜付録＞副教材・教具

身の回りにあるものが工夫次第で楽しく教えるための教材・教具になる。教えるための準備には時間がかかるので、一つの教具でいろいろな使い方を考えて教えるとよい。

	副教材・教具	使 い 方
1	実物	小学校低学年の児童には有効である。高学年や中学生は写真や絵カードを使って指導するとよい。
2	模型・おもちゃ (キャラクター)	実物が用意できない場合は、いくつか用意しておき、ゲームなどの活動に使うと楽しく活動できる。
3	さいころ	1から6までの数字の他にも大きな数や絵など工夫して使うとよい。2つ使うと算数の計算にも楽しく取り組める。すぐろく
4	算数セット	計算や図形、時計など入っているので、算数で日本語を指導するのに便利。
5	おりがみ	色の名前や折る作業を通して動詞を覚えさせることができる。
6	粘土	細長い棒状にして、文字を作ったり、動物などの形を作ったりして、楽しみながら言葉を学ぶことができる。
7	写真	実際に学習に必要なものなどをデジカメで写して使ってもよいが、雑誌や広告の写真を切り抜いて厚紙に貼ってもよい。パウチしたり、クリアファイルに入れたりして、何回も使えるようにしたい。
8	絵	場面の様子を絵にかき、絵を見て日本語を指導する。できれば、実際に活動させるようにして、定着を図る。
9	紙芝居	市販の紙芝居を使って、聴解指導をしたり、お話の楽しさを味わわせたりする。文型指導の際、自作の紙芝居で指導するとよい。
10	絵本	お話の内容を理解させたり、言葉図鑑で語彙を増やしたりすることができる。
11	文字カード	厚紙にひらがな、かたかな、漢字などをフェルトペンや毛筆で書き、文字指導やゲームに使用する。
12	数カード	算数の学習やゲームに使用する。3セットくらいあるとよい。
13	文型カード	基本文型を細長い紙に書き、文型練習に使う。嵩張るので、二つに折り、指導する課を書いたインディックスを貼っておくとよい。
14	絵カード	厚紙に絵を書き、カードの端に品詞別に色分けをしておくとしやすい。語彙の導入、活用の練習に使うとよい。
15	変わり絵	2枚～4枚くらいの厚紙に順々に変わっていく絵をかき、語彙を理解させる。例えば「おぼれる」など。1枚の紙の裏表に絵をかき、違いからわからせるようにしてもよい。
16	フラッシュカード	瞬間的にパッと見せて（フラッシュさせて）使うことに由来している。良く使われるものは、カードに文字が書いてあるもので、動詞

		の活用などの形の変換の練習に使う。
17	漫画	話し言葉でかかれていますので、会話の練習になる。4コマ漫画を使ってなかなか理解できない表現を説明している市販本もある。
18	手品	コップや箱、ハンカチなどを使って、簡単な手品をすることにより、違いが分かり、集中して学習に取り組むことができる。
19	ワークシート	穴埋め、適語補充、正誤、多岐選択などの形式の問題、漢字の読み書きの練習、言葉集めや文型の練習、クロスワードやクイズなど。簡単なイラストを入れたものがよい。
20	ゲーム	たくさん考えられるが、主なものとして、カードとり・〇〇ごっこ・ビンゴゲーム・神経衰弱・動作指示ゲーム・当てっこゲーム・禁止ゲーム・命令ゲーム・ふくわらい・じゃんけん・探し物ゲーム・指示ゲーム・順番ゲーム・動作ゲーム・形容詞ゲーム・すごろく・じんとり・迷路ゲーム
21	VTR	市販されている学習ビデオを使って、日本文化理解に役立てることができる。
22	CD	「にほんごをまなぼう」「たのしいにほんご」などのCDが市販されているので、授業中、自習に使うとよい。
23	テープ	日本語を聞いて理解する力を伸ばす。作成にあたっては、教科書の本文や文型練習の例文などが基本で、さらに本文の内容に関する質問と答え、応用聴解問題などを録音する。
24	コンピュータ	ワードで作文をしたり、同音異義語の中から適切な文字を選んで書いたりすることができる。
25	マグシート	裏が磁石になっていて、黒板・ホワイトボードにそのまま貼れる。表は水性マーカーで字が書け、何度でも使える。また、マグネットの代わりに小さく切って、テープなどで絵カードやフラッシュカードに貼れば、黒板・ホワイトボードに貼ることができる。
26	貼ってはがせるのり	児童生徒の作品などを貼ったり、移動させて貼って、仲間わけをしたりするときを使うと便利である。解答を隠してさっとはがして使うと意欲的に取り組むことができる。
27	50音表	常に教室に貼っておき、確認させる。
28	筆順表	書き順ごとに色分けして使うとよい。
29	復習プリント	ボランティアの指導時間は限られているので、復習プリントを作成し、学習後、宿題として渡したり、クラスでの授業・自習のときに使ったりすると良い。

作成（研究員 井上恵子）